## 【資料1】

#### ■案内図・配置図

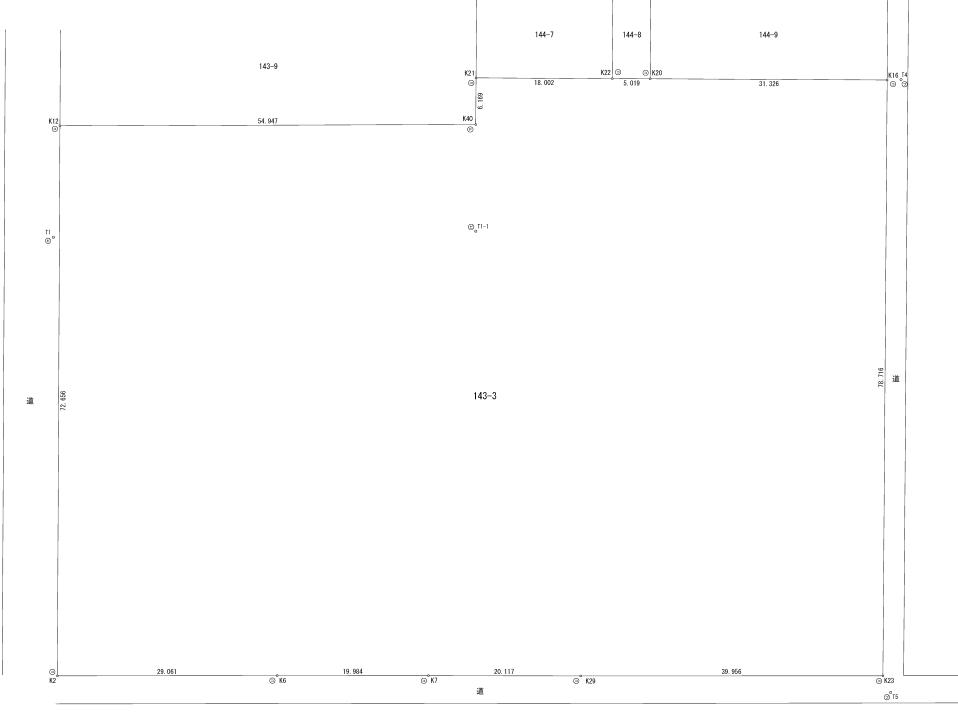


計画地位置図

### ■主要自動車・歩行者動線図(広域)



# 境界点網図 s=1:250(1:500)





#### 求積表

地 番	1 143-3					
NO	Xn	Yn	Yn+	1–Yn–	1	Xn • (Yn+1-Yn-1)
K2	-22510.004	-29819. 923		77.	801	-1751300. 821204
K6	-22483. 993	-29806. 963		21.	900	-492399. 446700
K7	-22466. 120	-29798. 023		17.	960	-403491. 515200
K29	-22448. 139	-29789.003		26.	870	-603181. 494930
K23	-22412. 392	-29771, 153		-52.	314	1172481, 875088
K16	-22376. 710	-29841, 317		-84.	307	1886513, 289970
K20	-22404. 662	-29855. 460		-16.	408	367615. 694096
K22	-22409. 141	-29857. 725		-10.	398	233010. 248118
K21	-22425. 201	-29865. 858		-2.	632	59023. 129032
K40	-22427. 994	-29860. 357		-18.	906	424023. 654564
K12	-22477. 223	-29884. 764		40.	434	-908844. 034782
				合	計	-16549. 421948
			合 計	面	積	8274. 7109740
				地	積	8274, 71

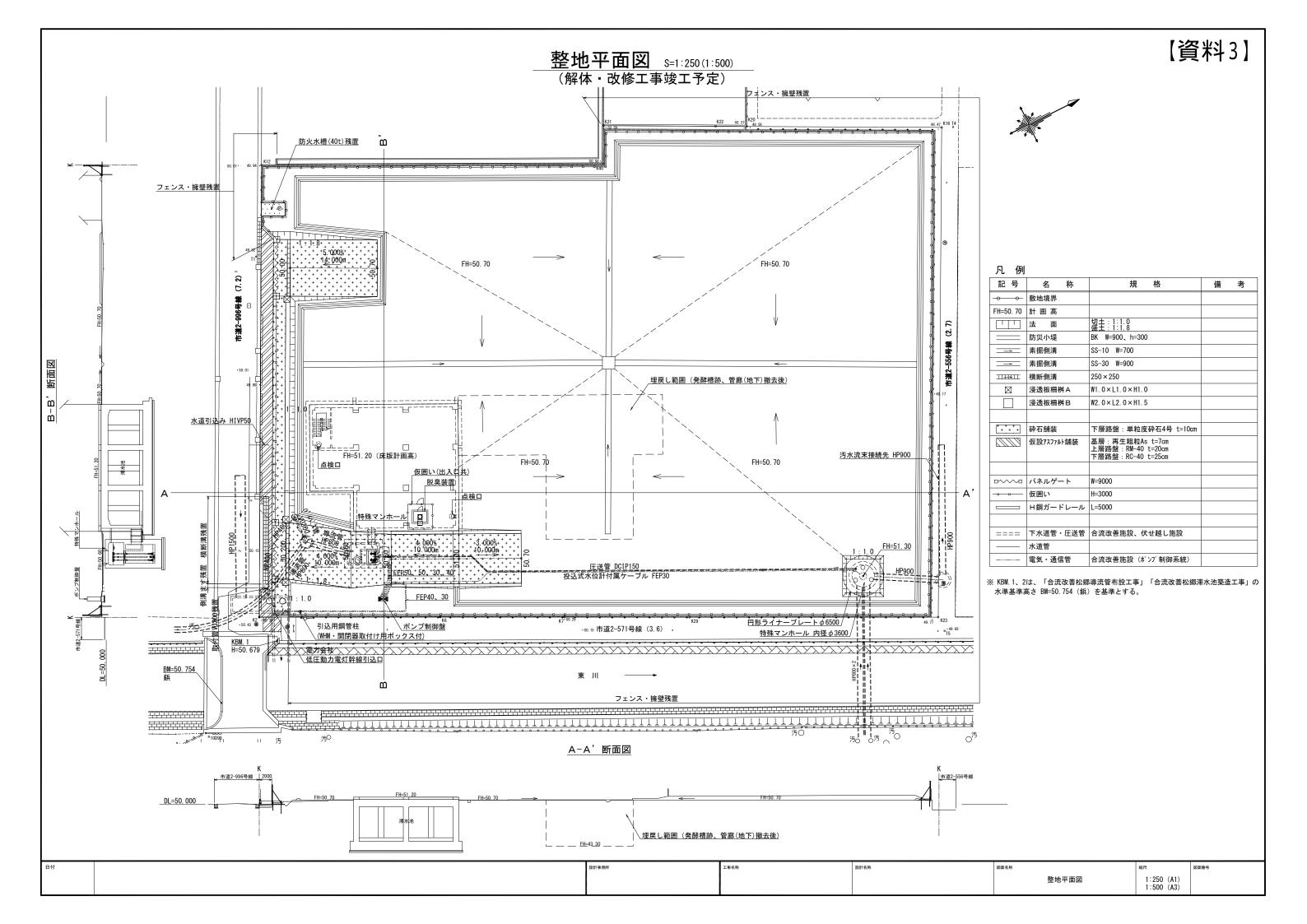
点 名	X座標	Y座標
10D98	-22525.837	-29806.362
T 1	-22484.574	-29871.993
T 4	-22375.042	-29840.550
T 5	-22412.455	-29768.735
T 1 - 1	-22434.284	-29847.765

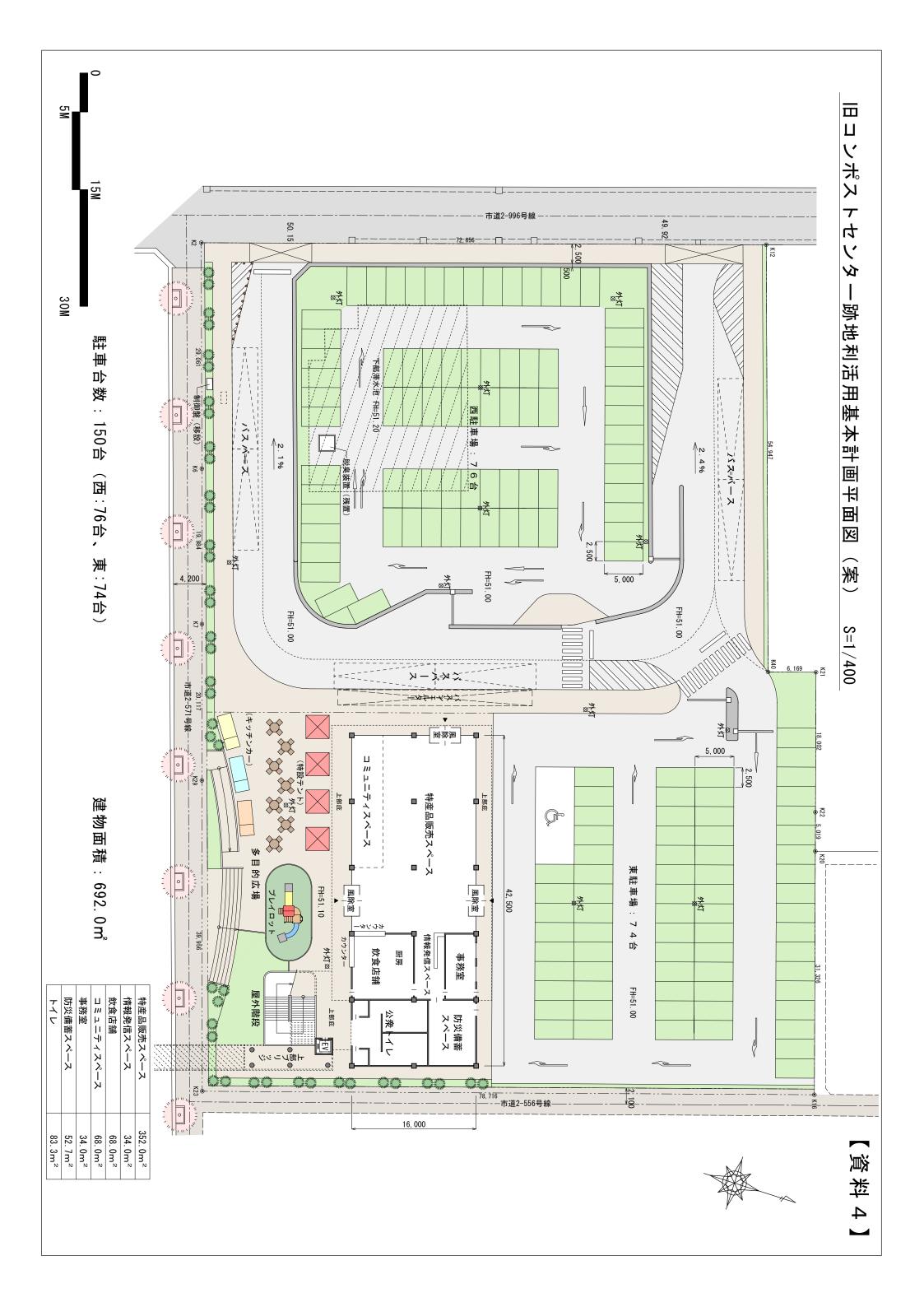
筆界点 境界標の種類
コンクリート杭
ウ レート
鉄
プラスチック杭
金 属 標

単位:メートル 整理番号:S16-016 作成日:平成28年12月22日

® 10D98

日付	設計名称	図面名称	縮尺	図面番号
		境界	点網図 1:250 (A 1:500 (A	A1) A3) 共通-5





# 【資料5】

## 旧コンポストセンター跡地利活用基本計画イメージ



西側より望む



南側より望む



ところざわサクラタウン側より望む

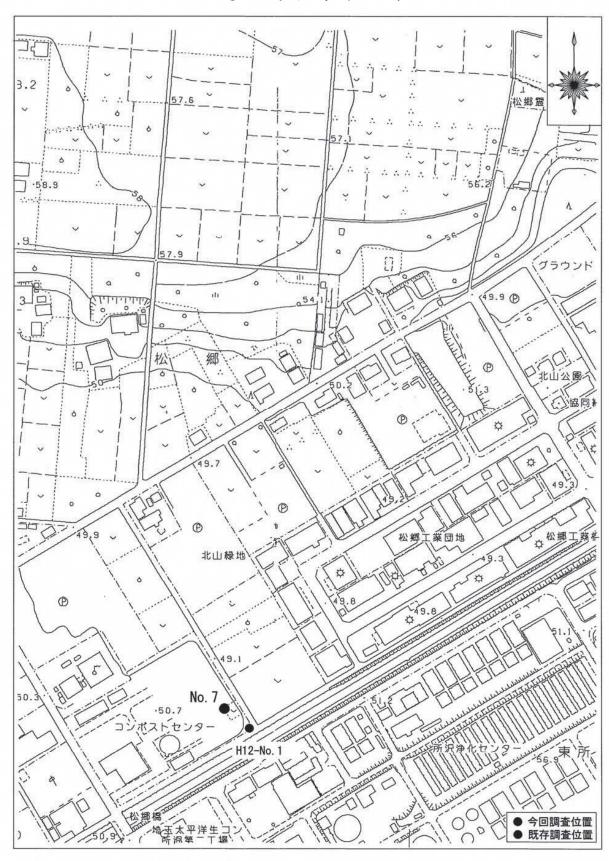


ブリッジより多目的広場を望む



多目的広場活用イメージ

## ボーリングデータ



調査位置平面図(S=1:2,500)

# ボーリング柱状図

名 地質調査業務委託(その2) ボーリングNo. 事業・工事名 ボーリング名 調査位置 35° 40" No. 7 埼玉県所沢市松郷地内 47' 発 注 機 関 所沢市 下水道部 下水道建設課 調査期間 平成 22年 10月 12日 ~ 22年 10月 15日 東 経 139° 30' 19" 光洋土質調査株式会社 ボーリング 調査業者名 主任技師 塚越 秀雄 浅香 寛之 浅香 寬之 細谷 松司 電話 (04-2949-4075) 代理人 鑑定者 責任者 角 180° 北 0 方 地 ハンマー 孔口標高 鉛水平0°直 試 錐 機 東邦地下工機製D2K型 半自動落下装置 盤勾 51.39m 上 270° 90° 東 用 落下用具 機 西 東 総掘進長 エンジン ポンプ 18.45m ヤンマー製NFAD-8型 鉱研工業製MG-5A型 配 向 180°南 孔 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験試料採取 室 掘 深 10cmごとの 名 深 深試採 試 位 進 質 対対 および結果 験 打擊回数 回 (m) 厚 度 状 料取 尺 高 度 0 10 20 度 度 密稠 区 月 貫入量 番 方 定 5 5 3 月 調度度 日 (m) (m) (m) 図 分  $|(m)|_{10}|_{20}|_{30}|_{(cm)}$ (m) 号法 (m) (m) 埋 4 2 2 8 1.15 -0.30mまで砕石。 -0.30m以深, φ100mmの玉石混入。 1.60m以深, φ10~30mmの亜角礫を 含む粘性土主体。。 -2.35m以深, 礫混じりロームであ 土 30 1,45 灰 2 10 2.15 30 茶 2.45 褐 全体に軟らかい。 3 10/13 3.75 3.45 3.15 土 30 6 6 17 5 47.14 4.25 30 4.45 8 10 12 30 5.15 30 30 5.45 5 7 9 21 6.15 30 21 6.45 5 φ max100mmの玉石, φ10~40mmの亜円~亜角礫主体。 -5.00m付近より含水量やや多く, φ10~30mmの亜円礫卓越する。マトリックスは粘土混じり細砂主体。 7.15 11 12 18 混り 30 41 7.45 灰 非 8.15 10 11 13 常に 8 30 34 8.45 密 15 25 10 50 9 9.15 5 25 60 10.15 14 14 16 10 30 44 10.45 40.59 6.55 10.80 11.15 8 10 10 28 11 粒径不均一で粘土分を不規則に混入 中ぐらい 30 28 する。。 11.45 灰 39.34 1.25 12.05 12.15 全体に軟らかく粘性中位。 スコリア片,砂分を極少量混入す 20 30 12.50 らか 12.45 る。多孔質である。 ± -T-1 ① 一軸 褐 13 13.35 4 8 11 10 23 1.40 13.45 37.94 13.20 30 23 14.15 15 15 20 50 14 30 50 中ぐ 14.45 15.15 18 24 8 50 褐灰 帯常に密か 粘土混り砂礫 φmax80mm, φ20~40mmの亜円~亜 角礫主体。 マトリックスは粘土混じり細砂で含 水なし。 -16.00m付近より若干逸水する。 18 27 5 16 17.15 12 12 14 38 30 38 17 38 30 38 10 12 16 10 5.00 18.45 19

# 【資料7】

<u>仮 設 構 造 図 s=図示</u> (参考図)

<mark>パネルゲート S=1: 50 (A1)</mark> 設置、撤去

仮 囲 い S=1: 50 (A1) S=1:100 (A3) 設置、撤去

側面図

9200 9000 梁(□100×100) 走行棒 ブレス 柱(口100×100) 硬質塩ビパネル アンカーボルト コンクリート 落し棒 (18-8) スパイラルダクト 再生クラッシャラン (RC-40) 50 1000 50

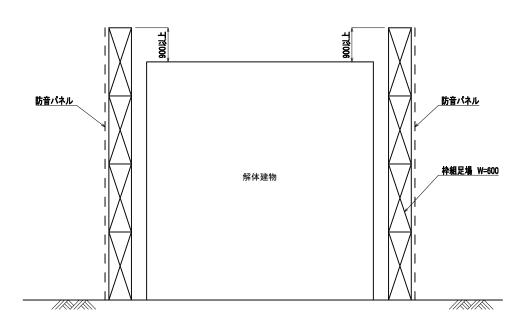
仮囲い鋼板 (3000×540) 単管パイプ(縦地) ( φ 48.6 × 2.4 × 3000) \_540\_540\_540 単管パイプ(横地)  $(\phi 48.6 \times 2.4 \times 5000)$ 単管パイプ(控え柱) ( φ 48.6 × 2.4 × 2500) 単管パイプ(根がらみ)  $(\phi 48.6 \times 2.4 \times 1500)$ 

正面図

※仮囲い鋼板(穴あき)は、10枚に1枚の割合で設置。

防音パネル S=1: 50 (A1) S=1:100 (A3) 設置、撤去

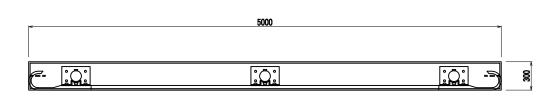
立面図



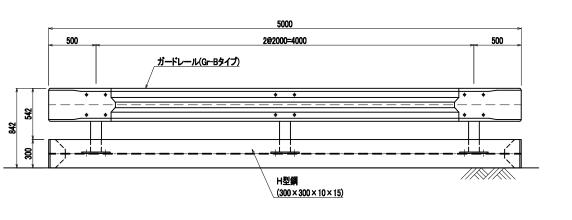
H鋼ガードレール S=1: 20 (A1) S=1: 40 (A3) 設置、撤去

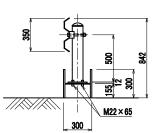
単管パイプ(打込みパイプ) \_\_\_\_( ø 48.6×2.4×1500)

平 面 図



正 面 図





断 面 図

設計事務所 工事名称 設計名称 仮 設 構 造 図 (参考図) 図示

